

# 令和4年度 柏原市社会福祉協議会事業報告

## 【事業概要】

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防を慎重に行いながら、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の地域福祉を考える年となりました。外出や人と会うことが制限・自粛され、経済活動が停滞する中で、高齢者の介護予防の必要性、生活困窮者への支援継続、住民主体の地域の助け合い活動の再活性化などの課題がクローズアップされるようになりました。

本会では、第4次地域福祉活動計画をもとに従来の事業の内容も社会に合わせて変化させながら、法人の理念である「みんなで支えあう心ふれあう やすらぎのまち」を目指し取り組んでまいりました。また、社会福祉協議会としての在り方を見直しガバナンスを高めるために「中期行動計画」の作成を進めてきました。令和5年度に策定・着手できるように準備を進めています。その内容には法人として掲げていた令和4年度重点目標も取り込み、今後も継続して取り組んでまいります。

総務課においては、令和元年度より実施している人事評価制度の適正評価の定着に向け、年2回の人事評価を継続実施しました。また、中期行動計画を作成し、中長期的な視点で法人運営を行えるよう基盤の整備を行いました。

地域福祉推進課では、大阪府福祉基金地域振興助成金を利用し、地域のICT（情報通信技術）環境を充実させるため、市内6か所のコミュニティ会館にモニターやWEBカメラなどのリモート機器を設置しました。この設備により、自宅近くの拠点に行くことで高齢者のサロンやボランティアによる配信に参加することができるようになりました。また、「日常生活自立支援事業の円滑な運営を考える検討会」を月一回開催、成年後見制度利用促進と権利擁護についての検討を行い、成年後見制度申請につながるケースが増加しました。「新型コロナウイルス感染症特例貸付事業」が9月末で終了しましたが、償還に関する相談対応などのフォローアップ事業を始めています。

高齢者いきいき元気センターでは、地域介護予防事業の中で、短期集中予防サービスへつなぐための連携強化を図り、また地域ケア会議を充実させ市内のケアプラン事業所の連携を強めました。

福祉事業課においては、年に2回の「介護保険・障害福祉サービスのあり方検討委員会事務局会議」にて運営方針を検討しました。また障害福祉サービスわくわくにおいては、11月より共生型地域密着通所介護事業を開設し、障害・高齢両方の対象者に対応できる体制を整えました。コロナ禍の影響も多大にありながら、BCP(事業継続計画)を活用して事業を継続してまいりました。

各事業の詳細は以下の通りです。

【総務課】

1 法人組織運営

(1) 法人運営の強化

《理事会の開催状況》		
開催日	場所	審議内容
5月25日	柏原市立健康福祉センター3階	1 令和3年度柏原市社会福祉協議会事業報告（案）について 2 令和3年度柏原市社会福祉協議会決算報告（案）について 3 柏原市社会福祉協議会新役員候補（案）の選出について 4 柏原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催及び柏原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 5 令和4年度第1回評議員会開催について 6 善意銀行の払い出しについて
11月1日	書面審議	7 善意銀行の払い出しについて 8 会計の区分一覧の変更について
3月15日	柏原市立健康福祉センター3階	9 令和4年度柏原市社会福祉協議会補正予算（案）について 10 令和5年度柏原市社会福祉協議会事業計画（案）について 11 令和5年度柏原市社会福祉協議会予算（案）について 12 就業規則の変更について 13 評議員選任・解任委員会の開催及び評議員候補者の推薦について 14 令和4年度第2回評議員会の開催について 15 令和5年度役員等賠償責任保険契約締結について 16 善意銀行の払い出しについて

《評議員会の開催状況》		
開催日	場所	審議内容
6月10日	柏原市立健康福祉センター3階	1 令和3年度柏原市社会福祉協議会事業報告（案）について 2 令和3年度柏原市社会福祉協議会決算報告（案）について 3 柏原市社会福祉協議会役員の選任について
3月24日	柏原市立健康福祉センター3階	4 令和4年度柏原市社会福祉協議会補正予算（案）について 5 令和5年度柏原市社会福祉協議会事業計画（案）について 6 令和5年度柏原市社会福祉協議会予算（案）について

《監事監査の開催状況》		
開催日	場所	監査内容
5月11日	柏原市立健康福祉センター3階	決算監査

## (2) 自主財源の確保

### ① 会員会費

種類	件数	金額
組織構成会費（正会員）	32件	848,000円
特別賛助会費	116件	830,000円
住民賛助会費	17,552件	7,560,800円
合 計		9,238,800円

### ② 有料広告掲載事業

社協の広告媒体に民間企業等の広告を有料掲載し、社協の新たな財源確保とともに地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として実施した。

社協かしわら……広告2回（阪南システムマシン株式会社2回）

## (3) 行政、その他関係機関との連携強化

柏原市の担当部局から予算編成の説明を受け、適正な予算要求に努めヒヤリングの結果補助金・受託金を確保した。

## (4) 広報啓発活動強化

- ホームページの更新
- 社協かしわら発行（年2回 全戸配布）
- フェイスブック……更新 21回 フォロワー数 325名

## (5) 組織管理体制の充実

### ① 苦情対応実績

ア 第三者委員の活動状況	
相談件数	0件
社協への申立後の対応	0件
第三者委員への直接の申立による対応	0件
イ 福祉サービス苦情解決相談設置事業	
相談件数	16件

### ② 安全衛生委員会の運営

「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」を用いた職場巡視や、働きやすい職場づくりのための安全衛生に関する年間計画をもとに活動し、定期的に審議した。

- 委員会の開催 月1回 定期開催

### ③ 人事評価制度の運用

令和元年10月1日施行「人事評価規程」に沿って、職員の職務遂行度、職務行動及び職務能力を一定期間ごとに分析し、評価した。

令和4年8月人事評価：令和4年2月1日～7月31日 対象人数：43名

令和5年2月人事評価：8月1日～令和5年1月31日 対象人数：44名

#### ④人権研修の実施

個々の人権意識の向上とメンタルヘルスを目的として、安全衛生委員会と共同で法人内研修会を実施した。

○日時：11月21日・22日

○テーマ：「ハラスメント、ストレスチェック・メンタルケアについて」

○参加総数：55名

### (6) 災害対策の充実

以下については、災害担当プロジェクトメンバーを中心として活動した。

災害プロジェクト会議開催：計5回

災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームを使用した研修をプロジェクトメンバーで実施した。

#### ①社協事業継続計画（BCP）の見直し

「柏原市社協職員災害対応初動マニュアル」の見直しに着手した。部署ごとのBCP作成について検討をした。

#### ②「eコミュニティ・プラットフォーム」の活用

社協における要援護者名簿の更新入力を行った。

#### ③防災啓発事業等への協働参加

○令和4年度災害ボランティアコーディネーター研修の参加（1名）

○三市（柏原市・羽曳野市・藤井寺市）社協の協働事業

10月26日 藤井寺市で、三市合同災害ボランティア養成講座を開催した。

11月20日 羽曳野市で開催された三市合同防災フェアに合同でブース参加

### (7) 各種団体等の事務局運営の充実

#### ①柏原地区共同募金会の運営

○実施者 柏原地区共同募金会 期 間 10月1日～12月31日

協 力 柏原市区長会、柏原市民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア連絡会  
柏原市内小中学校他

○共同募金実績

実績額			
街頭募金	189,628円	学校募金	124,620円
法人募金	729,626円	バッジ募金	420,500円
戸別募金	2,991,640円	その他	256,715円
職域募金	263,998円		
合 計			4,976,727円

○歳末助け合い募金

協 力：ボーイスカウト柏原第3団、大阪東部ヤクルト販売株式会社等

期 間：12月1日～12月31日 実績額：合計 75,000円

配分先：柏原市社会福祉協議会

○赤い羽根共同募金協力型自動販売機 1台設置

場 所：ほのぼのかたしも（平野1-12-1）

○赤い羽根共同募金365日募金箱設置

場 所：柏原市社会福祉協議会（大県4-15-35）

宮脇書店（堂島町2-20）

②柏原市民生・児童委員協議会事務局の運営

民生児童委員の円滑な活動を支援するために、主に下記の内容を実施した。

【各種会議】

正副会長会	9回	役員会	9回
地区定例会	2回		
会計監事監査	4月14日		
総会	2回（臨時総会含む）		

(8) 善意銀行・福祉基金の運営

①善意銀行

善意銀行は、市民からの善意の預託を受ける窓口として、金員、物品とも指定された施設・団体に払い出した。

○預託等の状況

預託	金額	払い出し	金額
前年度繰越金	23,000円	柏原市社会福祉協議会	713,585円
預託金品	750,385円	柏原市社会福祉協議会	59,800円
利息	0円	(払出予定)	
合計	773,385円	合計	773,385円

②福祉基金

地域に根ざした在宅福祉サービス事業、ボランティア事業を展開し、地域福祉の増進に寄与することを目的に基金を設置し、その果実を運用した。

基金設置日 昭和60年12月6日 前年度末基金積立額 322,418,971円  
 本年度末基金積立額 322,470,971円

寄付金及び基金果実		払い出し	
本年度受付寄付金	0円	基金積立	52,000円
基金果実	1,200,000円	法人	1,200,000円
(国債購入時額面差額)	52,000円		
合計	1,252,000円	合計	1,252,000円

(9) 社会福祉士の実習、インターンシップの受け入れ

①社会福祉士実習受け入れ

社会福祉士有資格者数：18名(実習指導者研修修了者7名)  
 相談援助実習：2大学 4名（1人あたり180時間）

②短期インターンシップ受け入れ

受入実績：2大学 2名

(10) 柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営

センター利用状況

月	開所日数	利用者数(延べ人数)	一日平均(人)
4月	25	1,339	53.6
5月	23	1,183	51.4
6月	26	1,354	52.1
7月	24	1,101	45.9

8月	3	106	35.3
9月	23	1,039	45.2
10月	25	1,183	47.3
11月	24	1,132	47.2
12月	23	1,072	46.6
1月	23	1,106	48.1
2月	22	1,179	53.6
3月	26	1,262	48.5
合計	267	13,056	

○新型コロナウイルス感染症予防対策として休館した期間

7月30日～8月27日

※食堂でのみ飲食可能。

○リサイクル資源の回収協力福祉施設

・段ボール回収……柏原放課後子ども教室☆い・ち・み☆

・アルミ缶回収……夢工房くるみ

## 【地域福祉推進課】

### 2 総合的な地域福祉の推進

#### (1) 個別支援活動からの支援体制づくり

##### ①コミュニティソーシャルワーカー（CSW）のコーディネート機能強化

CSW・COW（コミュニティワーカー）合同会議に大阪教育大学の新崎教授をスーパーバイザーに迎え、地域支援の視点を取り入れたケース検討を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で住民懇談会は中止になったが、相談援助を通し生活の困りごとを抱えた方へ貸付やフードバンクなど様々な制度や機関と連携をとり支援を幅広く展開した。また、伴走型支援として、生活困窮者自立支援事業のプラン作成が難しい引きこもり世帯に対しても、市の就労準備支援事業「くしら」と連携し支援にあたった。

##### 【相談支援実績】

相談対象者	相談者数	相談者延人数	新規相談件数
高齢者	213	359	48
（うち）一人暮らし	137	248	40
（うち）高齢者のみ	76	111	8
障害者	190	433	37
（うち）身体	19	27	4
（うち）知的	25	93	6
（うち）精神	146	313	27
子育て中の親子	96	171	9
ひとり親家庭の親子	96	164	14
青少年	63	95	2
DV被害者	16	26	8
ホームレス	1	4	1
外国人（中国帰国者含む）	20	20	2

その他（知的障がい疑い・不明）	20	33	8
その他（対象者無し・制度などについて相談）	263	349	70
その他（難病）	2	3	1
その他（引きこもり）	83	130	8
その他（生活困窮者）	309	435	70
合 計	1372	2222	278

【内容別】

相談内容	相談者数	延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	273	374
生活に関する身近な相談	246	445
健康・医療に関する相談	70	111
生活費に関する相談	256	429
就労に関する相談	111	186
財産管理・権利擁護に関する相談	20	34
消費者被害に関する相談	0	0
多重債務に関する相談	2	2
DV・虐待に関する相談	27	39
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	231	299
住宅に関する相談	11	61
子育て・子どもの教育に関する相談	82	129
その他（安否確認）	36	71
その他（ひきこもり）	105	162
その他（不登校）	74	107
その他（近所トラブル・迷惑行為）	12	29
その他（不安解消・介護者レスパイト）	14	18
合 計	1570	2496

（相談内容は重複あり）

②日常生活自立支援事業による権利擁護機能の強化と広報活動強化

認知症高齢者や知的・精神障害者などで判断能力の不十分な方に福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理及び書類保管サービスを行った。

【相談支援実績】

内容 事項	本事業の利用に関するもの				合計	
	対象者	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等		不明・その他
a.問い合わせ数		17	2	6	0	25
b.初回相談数		7	3	3	0	13

c.相談援助件等 (専門員による訪問含む)	278	219	734	0	1,231
合計	302	224	743	0	1,269

**【契約者数等】**

対象者 内容	認知症高 齢者等	知的 障害者等	精神障害 者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
① 利用者数	14	9	26	0	24	49
② 新規契約者数	4	1	1	0	2	6
③ 契約終了者数	6	0	5	0	5	11
④ 年度末利用者 数(①+②-③)	12	10	22	0	23 (年度途中 の変更含む)	44

**【訪問回数】**

856回(のべ回数) 左記のうち、生活保護受給者支援回数 473回

**③日常生活自立支援事業の円滑な運営を考える検討会の実施による成年後見制度利用促進**

「日常生活自立支援事業の円滑な運営を考える検討会(通称ほっとねっと検討会)」を令和4年1月から立ち上げ、地域福祉推進課、市の担当課、弁護士が月に一回集まり、主に日常生活自立支援事業利用者について成年後見制度利用の必要性を検討した。結果として、市長申し立ても含め、制度利用が促進された。

**【検討実績】** 期間：令和4年1月～令和4年12月

検討総数	23件	後見制度利用が必要と 思われる件数	12件
うち日常生活自立支援事業ケース	15件	うち本人申立相当(重複)	5件
うち基幹相談支援センターケース	4件	うち市長申立相当	5件
うち高齢者いきいき元気センターケース	2件	うち親族申立相当(重複)	3件
うちCSWケース	2件		

**④柏原市生活困窮者自立支援事業の拡充**

就労支援と家計改善支援を柱に総合的に相談に応じ、対象者の自立に向けた支援を行った。

**【相談支援実績】**

新規相談件数	内訳		
	相談のみ	他機関に繋ぐ	プラン作成
403	326	11	66

**【法に基づく事業等利用件数】**

住居確保 給付金	一時生活 支援事業	家計相談 支援事業	就労準備 支援事業	就労訓練 事業	自立相談支 援事業によ る就労支援
10	0	39	11	0	66

**【生活困窮者自立相談支援事業(法律相談)】**

相談受付件数	受任件数	相談件数(述べ件数)
14	5	24

**⑤新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業申請受付補助業務**

特例貸付利用後もなお家計に新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯に支給される「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」に関する個別相談窓口業務を柏原市より受託。柏原市生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」と連携し、申請支援の他、適切な繋ぎを行う事で対象者の自立や生活の安定を図った。

**【相談支援実績】**

申請者数	内訳	
	59	相談、申請支援のみ 47

**⑥大阪府生活福祉資金貸付事業**

国と大阪府が出資し低所得者・高齢者及び障害者等の低所得者世帯を対象に、安定した生活を営むために必要な資金貸付の申請支援を実施した。

この「新型コロナウイルス感染症特例貸付事業」は9月末をもって終了となった。

**【受付実績】**

通常貸付 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)	件数	新型コロナウイルス感染症特例貸付 (令和4年4月1日～令和4年9月30日)	件数
緊急小口資金	22	緊急小口資金	31
総合支援資金	2	総合支援資金	32
教育支援資金	33	総合支援資金(延長)	0
生活福祉資金	39	総合支援資金(再貸付)	0
合計	96	合計	63

**⑦つなぐオンライン事業**

令和4年度大阪府福祉基金を活用し、「つなぐオンライン Area 続かしわ life」として事業を拡大。「ICTを活用できる人材育成」「ICT・オンライン機器の活用」「情報受信拠点機能の充実」の3つの重点目標を掲げて、研修会の実施やフォローアップのためのガイドブックの作成、ICT受信拠点の整備を行った。

**(2) 小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援**

住民一人ひとりが福祉活動に参加し、地域の中の助け合いを育てていくための住民組織としておおむね小学校区ごとに設置されている9つの地区福祉委員会において、福祉のまちづくりのため、それぞれの地域に応じた活動を展開した。

**①地区福祉委員会研修会の開催**

研修名	実施日	場所	参加人数
地区広報誌の作成方法や構成について	12月23日	オアシス 講座室	12名
令和4年度 小地域ネットワーク活動リーダー研修会	3月2日	オアシス 講座室	25名
のべ参加者数			37名

**②地区福祉委員会委員長連絡会の開催**

開催日	内容
令和4年5月16日	令和4年度 地区福祉委員会研修会(案)について 柏原市社会福祉協議会理事及び評議員の選出について
9月28日	令和3年度柏原フードパントリー事業の実績報告 研修会開催について
令和5年3月17日	令和4年度事業実施報告 令和5年度申請書類について

③友愛訪問事業・柏原フードパントリー事業

寄付受付（食品）	寄付受付（日用品）	配布者数（のべ）
534 点	424 点	110 件

④「ほのぼのかたしも」利用実績

地域住民で構成されたほのぼのかたしも運営委員会の地域福祉活動の自主運営を支援した。

開所日	入館者のべ人数	足湯利用者のべ人数
156 日	2039 名	349 名

⑤地区活動から個別支援へニーズの掘り起こし

「COW 実践記録」を継続したことにより地域支援の可視化を図った。

(3) 多機関との連携協働事業

①柏原市生活困窮者支援会議・部会の運営

地域共生社会の実現に向け、柏原市や関係機関との包括的な相談支援体制を整備することを目的に開催。

		内容	回数
1 層	就労支援部会	若者サポートステーションと受入先の情報共有	2
	こども若者支援部会	柏原市でのヤングケアラー支援体制について	1
	民間支援部会	レスキュー事業の報告、地域拠点について	2
2 層	定例会議	第 2 週は情報共有、第 4 週はケース検討	24
3 層	全体会議	ヤングケアラーについて（講義形式の研修）	1

②要援護者食糧等分配支援事業による切れ目のない支援

フードバンクおおさか・大阪いずみ市民生活協同組合とのそれぞれの協定に基づき、食料分配を行った。

件数	内訳			
	高齢者世帯	障害者世帯	低所得世帯	その他
85 件	20	8	53	4

(4) 社会資源の発掘活用支援

①柏原市ボランティア・市民活動センターの体制強化

ボランティア活動の普及啓発、情報提供、相談、講座、研修、活動支援を実施し、誰にでも分かりやすく、親しみやすいセンター事業の運営に努めた。また、ZOOM 等を利用したりリモートボランティア活動の取り組みを進め、協力者として市内大学の学生のボランティア登録も行った。

【登録状況】

グループ（83 グループ）	個人登録	合計
1,728 名	14 名	1,742 名

【依頼・相談状況】

福祉関係	社協	行政機関	団体	学校	地区福祉委員会	その他	計
66 件	87 件	24 件	55 件	16 件	51 件	6 件	305 件

**【ボランティア・市民活動センター会議】**

開催年月日	内容	参加者
令和5年3月22日	「あそび工房もくもく屋」の田川雅規氏を招いてのボランティア団体間の交流会	56名

**【ボランティア講座・行事】**

リモートボランティア実施	年間 計 32 回	参加施設 10 か所 参加ボランティア団体 15 団体
ビジュアルストーリーガイド	年間 10 回	柏原市歴史資料館、ボランティア団体「柏原市民歴史クラブ」と協力し歴史に関する実況配信実施
三市（柏原市、羽曳野市、藤井寺市）合同災害ボランティア養成講座	令和4年 10月26日	参加 29 名 講師 大阪府社会福祉協議会本田氏
市民総合フェスティバル「ボランティア連絡会ブース」参加	11月5日	「ネイチャークラフトマルタくん」と「河内竹工房」が出店
ICT 食わず嫌い講座 【導入編】	11月29日	参加 23 名 講師 幸生電機工業株式会社 友田氏
ICT 食わず嫌い講座 【連続講座①】	12月9日	参加 18 名 講師 ユナイテッド・トゥモロー 尾関氏
ICT 食わず嫌い講座 【連続講座②】	12月13日	参加 20 名 講師 ユナイテッド・トゥモロー 尾関氏
ICT 食わず嫌い講座 【連続講座③】	12月19日	参加 16 名 講師 ユナイテッド・トゥモロー 尾関氏
ロコモ予防教室	12月15日 令和5年 1月19日 2月16日 3月16日	関西福祉科学大学リハビリテーション学科の教授とボランティア連絡会で協働制作したロコモ体操を配信する。学生ボランティアが配信協力。

**【ボランティア表彰】**

大阪府知事表彰受賞団体 「幸&イエローバンド」

**【ボランティア相談会】**

毎月第2金曜日 13時30分から15時30分 柏原市立健康福祉センター  
相談会以外の日にも随時相談に応じた。

**②かしわらファミリー・サポート・センター事業の拡充**

本事業により、育児の援助を行いたい人と、育児の援助を受けたい人を登録受付し、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行った。

**【会員数及び活動状況】**

依頼会員数	援助会員数	合計
234名	71名	305名

**【活動状況の実績】**

内 容	回 数
保育所・幼稚園・放課後児童クラブの送迎、その前後の預かり、習い事の送迎等	年間合計 618回

**(5) 事務局機能の強化による活動支援**

ICT も活用し会議・研修等を行い、効率的に事務局運営を行った。

①柏原市ボランティア連絡会事務局

ボランティア連絡会代表者会議の開催 毎月1回

開催日	内容	参加団体
4月12日	ボランティア連絡会代表者会議総会 令和3年事業報告及び令和4年事業計画、会計報告。 令和4年度役員、新規加入団体の紹介	23団体
5月10日	連絡会のつながり強化のため、所属団体紹介を開始。 令和4年度予算案報告。	23団体
6月20日	関西福祉科学大学との連携について 団体活動紹介、団体紹介の掲示について	24団体
7月21日	健康づくりに役立つ体力測定参加者の募集について 団体活動紹介、リモボラ展の視聴 ボランティア体験プログラムについて	24団体
8月25日	地域介護予防推進員養成講座参加者募集について 団体活動紹介、ロコモ予防教室について	24団体
9月29日	団体活動紹介、ロコモ予防教室について 柏原市市民総合フェスティバルの参加について	24団体
10月24日	柏原市市民総合フェスティバル参加報告 団体活動紹介、ロコモ予防教室について 赤い羽根共同募金街頭募金実施について	24団体
11月14日	赤い羽根共同募金街頭募金報告 団体活動紹介	24団体
12月15日	大阪府ボランティア連絡会河南ブロック交流会報告。 団体活動紹介 大阪府知事表彰「幸&イエローバンド」	24団体
1月16日	ICT食わず嫌い講座報告 大阪府ボランティア連絡会テーマ別研修報告 団体活動紹介	24団体
2月16日	ふれあい広場参加について ロコモ予防教室について、スマホ教室参加について 団体活動紹介	24団体
3月7日	ボランティア連絡会代表者会議開催。 ボランティアポイントについて 令和5年度ボラ連リモボラ事業推進体制について 団体活動紹介	24団体

②柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会）（事務局）

【各種会議】

名称	回数	内容
総会	1回	事業報告、決算報告、事業計画、予算、大阪しあわせネットワーク・市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業報告について、社協相談窓口について
役員会	1回	事業報告、決算報告、事業計画、予算、大阪しあわせネットワーク・市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業報告について

実務担当者委員会	2回	大阪しあわせネットワーク・市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業報告、研修会・助成金予算の執行について
実務担当者会議	2回	大阪しあわせネットワーク・市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業報告について、研修会・助成金予算の執行、生活支援事業報告について

**【大阪しあわせネットワーク・市区町村域しあわせネットワーク体制構築モデル事業】**

内容	開催年月日
「地域課題における地域貢献委員会の役割について」(YouTube 配信)	令和5年3月13日～3月31日配信

**③第34回社会福祉法人柏原市社会福祉協議会「柏原ふれあい広場」実行委員会事務局**

○福祉講演会を開催

日 時：令和5年2月25日

場 所：柏原市民会館リビエールホール 大ホール

テーマ：「高齢者のためのやさしい経済学」

講 師：神戸学院大学 中野雅至教授

・講演会来場者は約200名。

・来場者に講演内容と地域福祉についてのアンケートを実施。

○実行委員会は実行委員12名で年間3回実施した。

**④柏原市子どもの学習・生活支援事業**

子どもの学習・生活支援事業における、学習支援補助員のコーディネーター業務・実施場所や物品の提供を行った。通常の実施場所は「ほのぼの家こくぶ」「ほのぼのかたしも」の2か所で週1回の授業であるが、新型コロナウイルス感染症の予防のためオンラインによる授業も開始され、自宅にインターネット環境がない生徒のために機器の貸し出しも行った。

**(6) 柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制の強化**

**①基幹センターとして総合相談機能の強化**

障害者やその家族に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、障害福祉サービスの情報提供等、地域における生活支援を実施した。障害者権利擁護サポートセンターも兼ね、成年後見制度利用支援、虐待通報への対応と虐待防止のための支援等を行った。

**【一般相談件数 月別件数】(のべ)**

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	73	67	32	102	97	81	74	80	65	71	66	61	869

**【支援方法】**

方法	訪問	来所	同行	電話・FAX	メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	203	65	43	463	22	12	59	2

**【障害別】(実人数)**

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	198	19	2	47	100	7	6	17
障害児	24	1	1	7	0	14	0	1
計	222	20	3	54	100	21	6	18

\*重複障害のケースは、それぞれの障害(知的と精神の重複の場合は「知的」及び「精

神」)に計上する。

【内容別（相談内容に含まれるものは、すべてカウント）】

内容	件数	内容	件数
福祉サービスの利用に関すること	212	家計・経済に関すること	93
障害や病状の理解に関すること	4	生活技術に関すること	62
健康・医療に関すること	99	就労に関すること	56
不安の解消、情緒安定に関すること	146	社会参加・余暇活動に関すること	2
保育・教育に関すること	17	権利擁護に関すること	138
家族関係・人間関係に関すること	34	その他	60

②柏原市障害者自立支援協議会の活性化

事務局会議・専門部会を中心に、事例検討、災害対応、啓発活動、当事者・家族の情報交換等の活動を実施した。

専門部会開催：事務局会議 12 回、相談部会 12 回、くらし部会 5 回、  
日中・就労部会 6 回、子ども部会 2 回（コア会議 5 回）

【全体会・定例会開催内容】

開催日	内容	参加者
7 月 4 日	第 21 回全体会	
9 月 21 日～ 10 月 3 日	定例会研修「成年後見制度と権利擁護について」 動画配信で実施	14 事業所 108 回再生
1 月 16 日	第 22 回全体会	
3 月 6 日～ 31 日	定例会研修「意思決定支援の基礎について」 動画配信で実施	14 事業所 31 回再生

③指定特定相談支援・障害児相談支援

障害者やその家族の方に対し、障害福祉サービスの情報提供・利用援助等、計画に基づいた地域における生活支援を実施するため、柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制を強化した。

○計画相談件数（令和 5 年 3 月末現在）

指定特定相談支援		障害児相談支援		地域移行支援・地域定着支援	
モニタリング件数	495 件	モニタリング件数	101 件	モニタリング件数	0 件
計画作成件数	189 件	計画作成件数	39 件	計画作成件数	0 件

④点訳・朗読、要約筆記奉仕員養成講座の実施、点字広報等発行

【講座開催状況】

開催日	内容	参加者
7 月 2 日 ～ 9 月 10 日	要約筆記奉仕員養成講座（全 10 回）	3 名
8 月 22 日 ～ 9 月 12 日	朗読ボランティア養成講座（全 4 回）	7 名
10 月 13 日 ～ 12 月 15 日	点訳ボランティア入門講座（全 10 回）	2 名
1 月 12 日 ～ 2 月 9 日	点訳ボランティアパソコン講座（全 5 回）	1 名

【点字広報等発行】

柏原市発行「広報かしわら」の点訳を点訳ボランティアグループに委託。  
年 12 回、毎月発行した。

⑤車いす短期貸出事業

一時的に車いすが必要になった市民に対し 3 か月間以内の無料貸し出しを行った。

貸し出し件数 (R4.4月～R5.3月)	月平均	稼働台数
合計 113 回	7.2 回	56 台

#### ⑥障害者おむつ助成（共同募金助成事業）

対象	支給額	のべ利用者数
障害手帳取得者（重度相当） 非課税世帯	1ヶ月あたり 3,500 円を限度	47 人 (実数 5 名)

#### ⑦ピアカウンセラー相談業務（視覚障害 毎月 1 回）

ピアカウンセラーによる出張講演（盲導犬や点字等についての講義）

12月14日	堅下北小 3、4年生
1月12日	玉手小 4年生
2月27日	国分小 4年生

#### ⑧基幹相談支援センターの出前講座（随時依頼受付）

職員による出張講演（車いす体験や視覚障害について）

2月8日	柏原東小 5年生
3月1日	堅下北小 5年生
3月17日	堅下北中 1年生

### (7)柏原市療育教室（令和4年度よりオアシスのスキップKIDSに場所を移し実施）

#### ①発達に弱さのある子どもたちの成長・発達促進

それぞれの幼児の発達段階や障害の違い（身体的・知的）に応じてより細やかな療育に取り組めるように2つのグループに分け、保育の質の向上を目指し各グループ10名程度の少人数で保育を行った。

うさぎグループ（1,2歳児中心、親子同室保育）

ぱんだグループ（2,3歳児、基本親子分離保育）

感覚あそび、散歩、運動遊び、水遊び、製作などに取り組んだ。また、季節に応じた行事を実施。

○新型コロナウイルス感染症予防の為、手洗い、消毒、検温に留意し保育を行った。

#### 【月別利用状況（児童数）】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍 児数	7	9	9	13	13	13	14	16	15	16	16	16	
ぱんだ	7	63	82	71	66	66	45	85	66	83	82	116	832
うさぎ	45	17	14	54	58	58	56	56	66	40	53	59	576
合計	52	80	96	125	124	124	101	141	132	123	135	175	1,408

\*保護者のべ参加人数 1,491名

\*兄弟付き添いのべ人数 263名

#### ②保護者の思いに寄り添った適切な支援

##### ○家庭訪問

子どもの生い立ちや家庭環境・生活環境を把握することで、支援の方向性を考えると共に、保護者の困りごとや教室では話にくい相談事など保護者の思いに寄り添う支援に取り組んだ。保護者へは子どもの障害受容など、特に対応が必要な場合に随時時間を作って対応した。

##### ○個別支援計画

保護者と個別懇談をし、保護者のニーズと子どもの現状を共通理解したうえで、療育教室での目標をたて、毎月の職員会議にて目標の達成度を評価・検討した。

### ③包括的支援の実施

柏原市障害者自立支援協議会こども部会に参加し、医療機関や他事業所と連携を図った。

## 3 高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）

### (1) 介護予防ケアマネジメント業務

#### ①自立支援型ケアマネジメントの推進

要支援 1.2 と認定された方に介護予防支援および第 1 号介護予防支援に関するケアマネジャー調整、計画作成を実施した。

高齢者いきいき元気センター	居宅介護支援事業所（委託件数）
2,398 件	4,484 件

#### ②自立支援型地域ケア会議

QOL向上について多職種で検討する会議を開催し、自立支援型ケアマネジメントの向上を図った。

開催回数	検討件数
32 回	32 件

#### ③高齢者の自立支援に資するケアマネジメント

短期集中予防サービス	訪問型サービス C	13 件
	通所型サービス C	12 件
地域リハビリテーション		37 件

### (2) 総合相談支援事業

#### ①総合相談機能の強化

高齢者いきいき元気センターで、ワンストップで相談を受け、他機関へのつなぎも行った。認知症地域支援推進員への相談も一体的に受け、支援へつないだ。

#### 【一般相談件数 月別件数】(のべ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	469	421	433	406	448	443	418	427	431	507	439	474	5,316

受付形態	電話	訪問	来所
	3,703	1,167	446

相談経路	本人	1,019	病院・医師	348
	家族親族	1,851	事業所（者）	282
	居宅介護支援専門員	724	関係機関	386
	民生・児童委員	143	その他	321

相談内容	高齢者虐待	127	介護保険関係(在宅)	2,309
	権利擁護相談	255	介護保険関係(施設)	287
	住宅改修	300	ケア会議	20
	処遇困難	401	経済支援	176
	介護支援専門員支援相談	676	認知症	1,033
	介護保険申請代行	950	その他	1,610

## ②各事業との協力連携

### ○地域包括支援センターランチ連携会議の開催

開催日・場所	検討内容
6月21日 柏原市役所+ZOOM 開催	・令和3年度事業報告について ・令和4年度事業計画について
10月18日 柏原市役所+ZOOM 開催	・相談実績報告について ・ふれあい広場について ・ボランティアポイント事業について ・ランチ事業の啓発について
2月15日 柏原市役所+ZOOM 開催	・市のフレイルチェックのフォロー協力について ・3月8日市民向け講座への相談ブース協力について ・令和5年度事業計画案、令和4年度活動報告について

## (3) 権利擁護事業

### ①成年後見制度や消費者被害の防止の啓発

成年後見制度や消費者被害の防止の啓発のため、柏原市老人クラブ連合会や市と協力し研修会を企画開催した。

#### ○啓発活動

開催日・場所	内容	参加者
11月8日 柏原市文化センター 3階	柏原市老人クラブ連合会シニア大学と共同 「知っておきたい相続と生前にできること」 講師：公益社団法人リーガルサポート大阪支部 二見 文敏 司法書士	26名
11月16日 柏原市文化センター 3階	介護保険サービス事業所対象 成年後見制度普及啓発講座 「知っておきたい成年後見制度について」 講師：公益社団法人リーガルサポート大阪支部 二見 文敏 司法書士	34名

### ②高齢者虐待の防止

#### ○虐待防止連携会議

柏原市役所、障害者権利擁護サポートセンター、高齢者いきいき元気センターにより月1回会議を行い、ネットワークに関することや虐待事例について検討した。

#### ○高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議（年一回）

開催日・場所	内容	参加者
11月21日 柏原市役所	協議事項：柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク研修会について 報告事項：高齢者・障害者虐待実績報告、対応事例報告、高齢者いきいき元気センターと障害者権利擁護サポートセンターからの事例報告	19名

○柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議 研修会（年一回）

開催日・場所	内容	参加者
2月17日 会場開催及び後日 YouTube配信	柏原市内の介護保険事業所・障害福祉サービス事業所を対象に研修を開催 講義「障害者・高齢者の虐待について(基礎)、虐待発生時の初動対応について」 講師：関西福祉科学大学 家高 将明 氏	43名

(4) 継続的、包括的マネジメント業務

①介護支援専門員の資質向上

介護支援専門員からの相談対応や研修会を予定し、後方支援を行った。

○介護支援専門員への後方支援相談件数：のべ 676件

○介護保険事業所研修会

開催日・場所	内容	参加者
11月18日 ZOOM開催	法定外研修「BCP、基本の「キ」～居宅介護支援事業所バージョン～」 講師：公益社団法人大阪介護支援専門員協会 事務局長 中辻 朋博 氏 大阪介護支援専門員協会柏原支部主催の研修会に事務局として参加	19名
2月27日 ZOOM開催	「事例検討会」 大阪介護支援専門員協会柏原支部と柏原市内の特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所との共同開催に事務局として参加	19名

②多職種連携の充実による高齢者支援体制づくり

○医療・介護ネットワーク「いかしてネットかしわら」検討会・研修会の開催

開催日・場所	検討内容	参加者
5月19日 検討会 会場・ZOOM開催	・柏原市在宅医療・介護連携推進事業 令和3年度実績報告 令和4年度実施予定 ・「いかしてネットかしわら」研修会の内容について	14名
11月17日 研修会 会場・ZOOM開催	三師会、病院、医療関係者、介護支援専門員、介護福祉関係者により研修会を開催 ・プロポーザル事業について ・災害時における各団体の状況報告 ・グループワーク	55名

○認知症対応型共同生活介護・地域密着型通所介護運営推進会議参加状況

事業所名（認知症対応型共同生活介護）	回数
グループホーム神田イン国分	6回
グループホームここから柏原	6回
ういる柏原（ソラスト）	6回

○四市（柏原市・羽曳野市・松原市・藤井寺市）地域包括支援センター懇談会

開催日	検討内容
11月11日 ZOOM開催 (主任介護支援専門員部会 担当 松原市)	・自立支援型地域ケア会議の状況について ・包括職員が行政へ書類を提出する際の身分証明について ・情報共有
1月18日 ZOOM開催 (社会福祉士部会 担当 柏原市)	・羽曳野市西圏域地域包括支援センターの開設について ・支援困難事例の対応方法について ・地域の居場所作りについて ・自立支援型地域ケア会議における役割について
12月26日 ZOOM開催 (看護師・保健師 担当 柏原市)	・羽曳野市西圏域地域包括支援センターの開設について ・一般介護予防事業の内容について ・介護予防リモート開催について
2月9日 ZOOM開催 (予防プランナー部会 担当 藤井寺市)	・業務のスリム化について ・プランナーの新人教育について ・短期集中C型の進捗状況について
2月13日 会場開催 (全体会議 担当 柏原市)	・各専門部会からの報告 ・各市からの質問等 ・次年度以降の開催持ち回りについて

③大阪介護支援専門員協会柏原支部事務局機能の充実

○大阪介護支援専門員協会柏原支部の活動

開催日・場所	内容
6月27日 ZOOM開催	・通常総会
11月26日 ZOOM開催	・法定外研修会 公益社団法人大阪介護支援専門員協会より講師を招き研修会を開催
2月27日 ZOOM開催	・事例検討会 市内の特定事業所加算を取っている居宅介護支援事業所と協力して開催

その他、毎月の理事会に事務局として参加

(5) 地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握

①地域ケア個別会議の充実

地域あんしん事業や介護支援専門員からの相談について個別ケア会議を開催し、個別支援について検討した。

開催日	地域包括支援センター以外の参加者
6月30日	障害者基幹相談支援センター、介護支援専門員、市高齢介護課
7月14日	障害者基幹相談支援センター、介護支援専門員、市高齢介護課、コミュニティソーシャルワーカー (CSW)
8月5日	介護支援専門員、訪問看護事業所、訪問介護事業所、通所介護事業所、福祉用具相談員
9月16日	市高齢介護課
9月28日	市高齢介護課
11月10日	市高齢介護課

12月12日	訪問介護（サービス提供責任者）介護支援専門員、市高齢介護課
12月20日	市高齢介護課、介護支援専門員

## 4 高齢者対策の強化

### (1) 健康寿命の延伸

#### ①地域介護予防推進員の養成講座の開催

要介護状態にならないように介護予防と健康・生きがいつくりの啓発を行い、その活動のリーダーとなる人を養成するための講座を開催した。

開催日・場所	内容	講師
9月13日 オアシス3階 講座室	・オリエンテーション ・柏原市の現状 ・ずっと元気に過ごすために（前編） ・交流会	柏原市社会福祉協議会 地域福祉推進課 柏原市高齢介護課 明治安田生命
9月20日 オアシス3階 講座室	・ずっと元気に過ごすために（後編） ・地域サロンの紹介	明治安田生命 介護予防サポーターズ代表
9月27日 オアシス3階 講座室	・ボランティア活動について ・レクリエーション	ボランティアセンター 関西福祉科学大学 一村 小百合氏
9月30日 オアシス3階 講座室	・脳を鍛える～基本編～	関西福祉科学大学 保健医療学部 重森 健太氏
10月4日 オアシス3階 講座室	・栄養講座 ・認知症について	柏原市高齢介護課 管理栄養士 認知症地域支援推進員
10月11日 オアシス3階 講座室	・口腔ケア	大阪府歯科衛生士会 歯科衛生士
10月18日 オアシス3階 講座室	・閉講式 ・地域での介護予防、百歳体操	柏原市社会福祉協議会 地域福祉推進課 高齢者いきいき元気センター

#### ②いきいき百歳体操、地域介護予防サロンの充実による居場所づくり

令和4年度より、「サロン代表者の集い」を開催し各サロンとの交流を図った。

##### ○地域サロンでの柏原市いきいき百歳体操実施状況

新規立ち上げ数	1団体	地域サロン総数	54団体
---------	-----	---------	------

##### ○介護予防サポーターズサロン

「介護予防サポーターズ」（地域介護予防推進員養成講座修了者のボランティア団体）による介護予防教室の活動支援を行った。

教室名	開催場所	内容
いきいきサロン若返り	柏原市立健康福祉センター 今町老人会館	運動指導士による運動
いきいきサロン若返り②	柏原市立健康福祉センター	運動指導士による運動
物忘れ予防サロン	柏原市立健康福祉センター	簡単算数、パズル等

○市内の柏原市いきいき百歳体操のサロンや地域介護予防教室へ包括保健師、看護師等が出前講座を行い、介護予防の普及啓発に努めた。

出張先	出前講座回数
いきいき百歳体操出前講座	54回
介護予防サポーターズサロン	14回
その他の出前講座	9回

**③認知症カフェ「カフェほのぼの」の活動支援（共同募金助成事業） 月2回開催**

開催場所	開催数	延べ参加者数
カフェほのぼの（問屋場亭）	22回	142人

**④ボランティアポイント事業の普及啓発と事務局機能の充実**

高齢者の介護予防ボランティア活動促進を行うと共に、地域貢献することを奨励・支援し、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防といきいきした地域社会づくりの推進に努めた。

R4年度 登録者数	主なボランティア活動内容
84名	調理ボランティア（60名）・配食ボランティア（21名）

新型コロナウイルス感染症予防のため、高齢者施設での活動はなし。

令和5年度は、リモートボランティアの活動団体・受け入れ施設に対象を拡大調整中。

（令和5年3月17日にボランティア連絡会にて事業説明をおこなった。）

**⑤高齢者デジタル環境普及事業（スマートフォン教室）**

市内の高齢者で構成されている団体に希望を募り、通信事業者を講師にスマートフォン教室を開催。高齢者がデジタル機器操作を学ぶことで新型コロナウイルスの流行下においても人とつながり必要な情報を入手できるように支援を行い、介護予防・認知症予防の推進を図った。

開催回数（のべ）	参加団体数	延べ参加者数
150回	34団体	628人

**（2）認知症対策の強化**

**①認知症総合支援事業の推進**

○認知症地域支援推進員への相談件数

のべ 360件

○認知症サポーター養成講座

開催数	のべ養成人数
4回	123人

○キャラバンメイト養成講座（府主催）

開催数	のべ養成人数
3回	3人

○物忘れ相談会の実施

市内の認知症サポート医と連携し、市民対象に個別相談会を実施した。

開催日・場所	認知症サポート医	相談者数
5月26日 対面開催	藤江クリニック 藤江 博 先生	3名
9月17日 対面開催	弓崎いこいクリニック 弓崎 恭俊 先生	3名

2月10日 ZOOM開催	国分病院 木下 秀一郎 先生	2名
--------------	-------------------	----

○認知症関連協力団体会議の実施

市内の認知症関連の各団体の代表と、認知症啓発についての会議を開催した。

開催日・場所	参加団体
10月6日 ZOOM開催	柏原市医師会、国分病院、八尾こころのホスピタル、大阪介護支援専門員協会柏原支部、地域密着型サービス事業所連絡会、柏原市介護保険デイサービス事業所連絡会、介護予防サポーターズ、柏原市高齢介護課、柏原市高齢者いきいき元気センター、認知症地域支援推進員

②認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）の活動実施

認知症サポート医、認知症地域支援推進員、包括保健師・看護師にて、認知症の疑いがあり、支援に繋がっていない方への初期支援を行った。

チーム対応件数	1件
---------	----

(3) 介護者支援の充実

①在宅高齢者・障害者配食サービス

食事作りが困難な在宅の高齢者や重度障害者に対して、栄養のバランスのとれた食事をボランティアを中心に調理し、栄養改善による健康の維持、疾病の予防を図った。また、個別に配食することで安否確認を行い、高齢者等の在宅生活を支援した。

年間配食日数	242日	年間利用実人数	54人
年間のべ配食数	7,315食	(うち独居高齢者)	49人
(うち高齢者配食数)	6,908食	(うち高齢者のみ世帯)	2人
(うち障害者配食数)	407食	(うち昼間独居高齢者)	1人
		(うち障害者)	2人
調理ボランティア数	60人	配食ボランティア数	23人

○調理ボランティア班長会議 4回開催

②介護用品支給事業（高齢者オムツ助成）の運営

対象	支給額	のべ利用者数
高齢者（介護度3以上、非課税世帯）	1ヶ月あたり5,000円を限度	383人

③認知症家族介護者の会「カフェいどばた」の支援（共同募金助成事業）

毎月火曜日に開催し、認知症当事者の家族同士の情報交換を行った。

会場	開催数	のべ参加者数
カフェいどばた（ふれあい館オガタ）	11回	45人

④くらしのサポート・サービス事業の拡充と安定運営

同じ地域に住む住民同士の共助の趣旨のもと、事業周知を行い会員増強に努めた。

【会員数】

(カッコ内は実働数)

	依頼会員数	協力会員数
令和3年度	481(125)	117(21)
令和4年度	512(112)	125(32)

【活動実績】

依頼件数	マッチング件数	活動回数
25件	25件	2,257回

#### (4) 団体活動の支援

##### ○柏原市老人クラブ連合会事務局の運営

おおむね 60 歳以上の高齢者の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他教養・健康増進活動のために高齢者が自主的かつ積極的に参加することができることを目的とした事業を実施したが、一部は新型コロナウイルス感染症防止のため中止した。

老人クラブ単位数	会員数
37 クラブ	1,260 人

##### ○活動内容

活動内容	日時
各単位クラブ補助金申請手続	4 月
総会	5 月（書面決議）
シルバーヘルススポーツ講習会	5 月～7 月 グラウンドゴルフ 4 回 10 月 ディスコン 3 回 （のべ 83 人参加）
シニア大学	6 月～9 月（全 6 回） 10 月～11 月（全 4 回）実施 （のべ 299 人参加）
高齢者福祉作品展	中止
高齢者福祉大会 リビエールホール（大ホール）	中止
高齢者演芸大会 リビエールホール（小ホール）	中止
新年互例会	中止

##### ○大阪府老人クラブ連合会各種事業への参加

#### (5) 地域見守りネットワークの構築

##### ①生活支援コーディネーターによる地域ニーズの把握と地域のネットワーク構築

柏原・国分各エリア会議及び自立支援型地域ケア会議に出席し、地域ニーズの把握に努めた。

##### ②見守り専門員による地域あんしん事業

一人暮らし台帳登録をされている高齢者のうち、希望される方や見守りの必要な方に対して見守り訪問や相談対応、会議を行った。

	エリア会議	訪問件数
柏原・堅下地区	9 回	862 件
国分、堅上地区	9 回	570 件
合計	18 回	1432 件

##### ③愛の一声訪問事業（共同募金助成事業）

見守りの必要な 75 歳以上の一人暮らし高齢者に週 2 回乳酸菌飲料を配布。  
対象者数：のべ 880 名 年間配布本数：85,959 本

##### ④関係機関との連携

困難事例にランチや民生・児童委員とともに対応するなど連携を行った。

## 【福祉事業課】

### 5 介護保険事業

#### (1) 居宅介護支援事業『ケアプランかしわら』

事業運営としては、引き続き特定事業所加算Ⅱの加算要件維持に努め、事業基盤の安定化を図ることができた。また、主任介護支援専門員が中心となって部署内で定期的に勉強会を実施し、困難事例の検討や介護保険制度外の制度について周知を行い、資質向上に努めた。医療機関との入退院時における情報共有で密な連携を行い、利用者の安心につなげると共に、確実な加算の取得につながるよう努めた。

また、地域包括支援センターランチの一つ「ランチこくぶ」として、エリア会議への出席や相談窓口対応の実施、介護予防活動強化推進事業(令和5年3月実施)の役割を担った。

○職員体制（令和5年3月末現在）

	常勤	非常勤	常勤換算 7.9名
管理者兼主任介護支援専門員	1名	—	
介護支援専門員	6名	2名	

○介護度別利用状況（令和5年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
20	21	96	61	22	13	19	252人

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計 21 件
-----------	---------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算	通院時情報連携加算
2670	50	87	12	1

○地域包括支援センターランチこくぶ相談受付件数 合計 71 件

家族・本人	病院関係	事業所	その他
43	9	3	16

○利用者満足度アンケート調査実施

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	251	243	96.8%

○ホームページの更新（求人募集、アンケート集計結果の報告等）

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 1名

#### (2) 訪問看護事業『訪問看護ステーションかしわら』

介護保険法・健康保険法による指定を受けたステーションとして、医療的支援が必要な利用者に対し看護サービスを行った。また、緊急時訪問看護加算(医療では24時間対応体制加算)の体制を維持し、在宅看取り等の継続的支援を行った。更にコロナ禍において、感染対策をして陽性者にも対応し、利用者が安心して在宅生活を送れるようかかりつけ医と連携を図りながら支援した。

○職員体制(令和5年3月末現在)

	常勤	非常勤
管理者	1名	—
看護師	2名	2名
理学療法士	1名	3名

○介護度別利用状況（令和5年3月末現在）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	合計
3	4	14	14	2	5	8	0	50人

○医療保険利用状況（令和4年度 のべ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後期 高齢	9	9	8	9	8	8	9	9	8	9	7	7	100人
医療 保険	6	7	7	6	6	7	5	5	7	7	7	7	77人

【月別利用状況】

○介護保険請求対象者

（令和4年度 訪問のべ回数。但し、理学療法士の訪問は20分毎に1回カウント）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
523	532	571	533	566	550	534	534	442	445	446	531	6,207回

○医療保険対象者（令和4年度 訪問のべ回数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
127	136	140	134	128	124	98	111	112	105	107	131	1,453回

○主な会議の出席状況(オンライン会議も含む)

内容	回数
大阪府訪問看護ステーション協会 中河内ブロック管理者会議	7回
柏原市看看連携会	6回
合計	13回

○利用者満足度アンケート調査実施

対象	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護・医療 全利用者	9月～10月	62	59	95.2%

○ホームページの更新、訪問看護通信の発行

訪問看護の取り組みや健康に関する情報を「ほのぼの通信」として利用者・関係機関に向けて年2回発行し、合わせてホームページも年2回更新した。

○内部研修

「リンパ浮腫ケアについて」多職種にも対象を広げ、研修会を年1回実施

○実習生の受け入れ

関西看護専門学校実習生 14名

大阪保健福祉専門学校 4名

○社会福祉法人寿光会のグループホーム「令寿の杜」の健康管理事業の受託を令和3年4月から始め継続している。対象者9名（令和5年3月末現在）

### （3）訪問介護事業『ヘルパーステーションかしわら』

サービスの資質向上を図る取り組みを継続して行った。訪問介護は利用者にとって最も身近なサービスであり、更に利用者のみならず家族の抱える課題等を網羅できる立場にあるため、対象者に応じた制度外のサービス提供を行い、また行政及び他職種と制度の枠を超えて連携を図り情報共有を行った。

○職員体制(令和5年3月末現在)

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者(サ責兼務)	介護福祉士	1名		
サービス提供責任者 訪問事業責任者	介護福祉士	4名	—	
訪問介護員	介護福祉士	—	—	16名
	実務者研修修了者	—	—	—
	看護師	—	—	1名
	ヘルパー2級	—	—	8名
	初任者研修	—	1名	—

サービス提供責任者4名 訪問介護員26名 介護福祉士資格取得者率66%

○介護保険法ヘルパー派遣事業

要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供

【介護度別利用者状況】(令和5年3月末現在)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用者数	12	18	16	10	2	2	2	62人
利用のべ 回数	70	123	159	106	36	45	66	605回

○障害者総合支援法ヘルパー派遣事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づいた「移動支援サービス」のサービスを提供

【障害者の利用者状況】(令和5年3月末現在)

サービス種別	居宅介護	重度訪問 介護	同行援護	移動支援	合計
利用者数	40	1	6	3	50人
利用のべ回数	570	62	53	13	698回

○利用者満足度アンケート調査実施

サービス区分	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護保険	9月～10月	73	73	100%
障害福祉サービス		50	50	100%

○内部ミニ研修 (登録ヘルパーを含めた情報共有・人材育成の場として活用)

実施月	研修内容
4・5月	法令遵守について・コロナ感染と熱中症について
6月	危険予測・感染症、食中毒について
7月	熱中症予防と対策について・移動時の事故対応について
8月	コロナ感染対策徹底について
9月	災害訓練・認知症
10月	虐待・身体拘束について・危険予測
11月	冬に流行する感染症・危険予測
12月	新型コロナウイルス感染発生時の対応について
1月	危険予測
2月	訪問緊急時の対応

## 6 子育て支援および障害者支援事業

### (1) 柏原市育児支援家庭訪問事業（産褥期ヘルパー派遣事業）

柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供した。  
 利用件数 6件 （利用合計時間 29時間30分）

### (2) 肢体不自由児訓練事業

運動発達に障がいや遅れなどのある児童に運動能力の改善として機能訓練を行い、保護者には日常生活のなかで活かせるように助言する。

※令和4年度は在籍児なし

## 7 障害福祉サービス事業『障害福祉サービスわくわく』

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染予防対策を講じながら通所事業を実施。  
 希望者には在宅利用などをすすめ安心・安全な利用ができるように柔軟に対応を行った。

### (1) 生活介護

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	12人	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った自立の促進、生活の向上を図る。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
257日	1,951人	個別の機能訓練、集団体操・レクリエーション、生産活動、外出、誕生日会、季節の行事の開催

契約者数17名（内新規契約者2名） 令和5年3月31日現在の利用者14名

- 感染対策として在宅利用を実施。実利用者1名(通所と併用あり)
- 作業やレクリエーションなどさまざまな日中活動の提供を行い、利用者自身に活動内容を決めてもらえるように支援した。
- 年2回の災害訓練実施。うち1回は利用者参加で火災避難訓練を行う。
- 共生型地域密着型通所介護の指定を受ける。介護保険対象になっても途切れない支援体制の構築。
- 自主製品の販売や友愛訪問の「のしつけ」作業の請負等を通じた地域との交流。  
 自主製品の年間売り上げ6,150円 軽作業収入169,568円

### (2) 就労継続支援B型

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	28人	利用者が地域との関わりを持ち、働くことに生きる喜びを感じながら、生活の向上、自立を図ることを目的とする。
開所日数	のべ利用者数	作業内容
257日	4,534人	帯つけ、ラベル貼り、袋詰め等個々に合わせた作業（6社契約中）職員・利用者向け飲料販売

契約者数25名（内新規契約者4名） 令和5年3月31日現在の利用者23名

- 様々な作業の中から個別の能力や機能にあわせた作業を提供。  
 職員向け飲料販売を開始し、販売同行や請求書作成などの生産活動を実施。  
 就労支援事業収入1,748,141円 平均工賃月額5,929円
- 多様な働き方として在宅利用を実施。（実利用者数3名）

- 部会や研修会への積極的な参加
  - 柏原市作業所連絡会親会議で柏原市内の障害福祉事業所との情報交換
  - 柏原市作業所連絡会主催の研修会「メンタルヘルス研修」に参加
- 年2回の災害訓練実施。うち1回は利用者参加で火災避難訓練を行う。

**8 「介護保険・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会 事務局会議」による事業方針の検討（介護保険・障害福祉サービス事業共通事項）**

「介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会 事務局会議」を年2回開催し、各事業の運営方針の検討や、令和4年度の取り組みに対する評価を行った。また、介護・障害の報酬改定の時期に合わせた各事業の中期（3ヶ年）計画に対しても、評価と見直しをした。

事務局会議の開催	介護保険事業・障害福祉サービス事業 合同で開催 (9月15日、2月21日) 計2回
----------	--